

平成30年度磐田市立豊浜小学校 学校評価書

平成31年2月

教育目標
重点目標

「挑戦し高め合う子」
進んで共に鍛える

評価 %.....自己評価「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した人の百分率
ABC.....3者の百分率平均値 A80%以上 B60~79% C60%未満

重点	目標・取組	設問	評価者			評価	考察(○)・改善策(※)	学校関係者評価委員から	
			児童	保護者	教職員				
進んで	(ア)「自ら」「関わって」「深く」学び、身に付ける。 (イ)ふるさと豊浜についてかかわりを深めて学ぶ。 (ウ)言葉の力を身に付ける。 「とよはま言の葉」の実践 ○ともに ○よいことばで ○はっきりと ○まっすぐに (エ)外国に関心を持ち、英語を使ったコミュニケーションに意欲を持つ。	子どもたちは 授業の内容がよくわかる。	☆	89%	87%	92%	A	○授業の内容理解に対する子ども、保護者の評価は昨年度より若干下がった。 ※学習内容の確かな理解、H32年度からの新学習指導要領の完全実施に向け、付けたい力を明確にするとともに、子どもたちが見方・考え方を働かせながら主体的・対話的で深い学びとなる授業づくりに努める。学習内容の確実な定着を目指し、学校と家庭が一体となった指導をしていく。 ○子どもたちは豊浜の歴史や自然に関心があるという設問に対する評価が昨年度より下がっている。 ※豊浜ふるさと学習を中心に様々な場面において地域の人材や素材と主体的に関わる学習を計画的・意図的に設定するとともに、ふるさと学習室の活用も進めていく。 ○「とよはま言の葉」を掲げ、聞くことに加えて話すこと、伝えることの指導を行ってきた。授業やその他の活動において、自分の思いや考えを伝えたいという意識が高まっている。 ○ALTとの連携、プニンヨン小学校との交流、新学習指導要領への対応を進め、外国語に対する興味・関心を高める工夫をしてきた。子どもたちが外国語活動の授業を楽しみにしていることがうかがえる。 ※引き続き「共に学び高め合う子の育成」をテーマとした校内研修を軸に授業改善に努めることで、「自ら」「関わって」「深く」学ぶ意欲や態度を育てていく。	・子ども自らが考え、学ぼうとする学習スタイルの確立をお願いしたい。内容理解について、家庭学習の重要性を保護者に理解してもらい、家庭でも学力向上に向けた取組を意識していただきたい。 ・豊浜の歴史や自然に関わる学習は、学校でかなり進めており、発信もしていると思う。地域の一人として子どもたちと共に学ぶ機会があれば嬉しい。また、子どもたちに地域についてどう思っているのか聞いてみたい。 ・外国語の授業が楽しいと思う子どもが多いことは素晴らしい。グローバル化社会に対応できる資質・能力の育成に向け、継続的な指導をお願いしたい。 ・担任が「授業にふさわしい言葉で」と話していた。場に応じた言葉の使い分けは、必要である。
		子どもたちは 進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している。	☆	82%	73%	67%	B		
		子どもたちは 豊浜の歴史や自然について関心がある。	☆	80%	85%	75%	A		
		子どもたちは 地域の人たちと学校や地域で関わっている。	☆	85%	92%	100%	A		
		子どもたちは 自分の考えを友達に分かりやすく伝えている。(とよはま言の葉)		85%	73%	67%	B		
		子どもたちは 外国語活動の授業が楽しい。	☆	95%	91%	100%	A		
共に	(ア) 自他を尊重する。 (イ)「とよはまっ子の根っこ」を心掛ける。 ◎(さわやか)あいさつ ○(黙々)そうじ ○(周りに)感謝 (ウ)適正な距離(感)を保つ。 (エ)言葉の力を身に付ける。 「とよはま言の葉」の実践 ○ともに ○よいことばで ○はっきりと ○まっすぐに	子どもたちは 友達のことを考えて行動できる。		85%	92%	92%	A	○楽しい学校生活を送っている児童が多いが、それと同時に悩みや不安を抱えている児童もいる。 ※どの児童にとっても居心地の良い学級、学校となるよう、一人一人を大切にされた指導に心掛けていく。また、支援員やスクールカウンセラー等の専門スタッフと連携を取り、チーム豊浜として児童や保護者の思いに寄り添う支援をする。 ○児童会を中心にした朝のあいさつボランティア、年上が範を示す清掃活動は、子どもたちの自慢であり、自信を持っている活動である。 ※来年度は、本年度のあいさつに加え、清掃と感謝も月のめあてに設定し、学校全体が一丸となって取り組む活動を意図的、計画的に仕掛けることで児童の心を育てていく。 ○「学級は互いにルールを守り、協力する雰囲気がある」の項目において、児童の評価が年々高くなってきている。学級担任がよりよい学級づくりを目指し、日々子どもたちと向き合っていることの成果が表れていると考えられる。 ※単学級の特性を生かした学校、学級経営をしていく。学級においては学期初めに人間関係プログラムを確実に実行し、集団や人間関係づくりの指導を丁寧に行っていく。	・互いにルールを守り、協力できることはコミュニケーション能力の育成が強化されているからだと思う。子どもたちの健康な心の育成を引き続きお願いしたい。 ・子どもの言葉遣いについては、家庭が果たす役割が大きい。PTAとしても学校と協力しながら言葉のもつ力の重要性を保護者に発信していきたい。 ・言葉遣いは個によって違う。個別に指導を要する場合は、場を外して丁寧に話していただきたい。 ・子どもが元気は、地域の元気につながる。登下校時に6年生を中心に大きな声であいさつする姿や、友達と仲良く関わっている様子を見かけ、頼もしさを感じる。
		子どもたちは さわやかあいさつ、黙々掃除、感謝の気持ちをもって生活が、できる。		90%	92%	100%	A		
		子どもたちは 学校が楽しい。	☆	91%	93%	100%	A		
		子どもたちは 学校に相談できる人がいる。	☆	90%	86%	83%	A		
		子どもたちは 私たちの学級(学校)は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	☆	90%	92%	100%	A		
		豊浜小には 自慢できることがある。		93%	96%	100%	A		
		子どもたちは 場面に応じて言葉のつかいわけができる。(とよはま言の葉)		85%	81%	43%	B		
鍛える	(ア) 元気に運動する。 (イ)適切な目標をもって努力し、最後まで頑張り抜く。 (ウ)良好な生活習慣を身に付ける。	子どもたちは 外で元気よく遊んでいる。		93%	93%	100%	A	○朝や昼の時間に外で元気よく遊んでいる児童が多い。 ※朝活動に運動を取り入れる等、からだを動かすことが楽しいと感じる児童を育てていく。 ○学府の取組である健康10か条に対する意識が、児童1ポイント、保護者3ポイント、減少した。 ※義務教育9年間をとおして望ましい生活習慣を身に付けさせていくためにも、学校で指導していくこと、家庭で取り組んでいくこと、両方で進めていくことの共通理解を図り、学校と家庭とで連携した健康10か条の取組を進める。	・子どもたちは、日常から元気よく外遊びしており、心も体もたくましく育っていると思う。 ・運動場の草が気になるので、地域ボランティア等活用できないかと思う。 ・健康10か条について、睡眠時間が課題になっている。時間の使い方について家庭でも考えていきたい。
		子どもたちは 運動や行事などに自分なりの目標をもって最後まで取り組んでいる。		89%	97%	100%	A		
		子どもたちは 健康10か条を意識している。		85%	81%	73%	B		
小中一貫	(ア)中1ギャップの緩和 (イ)自尊感情の涵養	子どもたちは 自分にはよいところがあると思う。	学府	82%	97%	100%	A	○自尊感情の涵養は、学府の取組重点となっており、年々評価が高くなっている。「ナイストライ」を合言葉に児童の表れを称揚してきたこと、児童が創造的活動を生み出す場面を設けたことと表れだと思える。今後も自尊感情を高める支援を充実していく。 ○2学期に6年生が中学校生活に対する5つの質問を中学1年生にしたところ、全員から回答もらったことが、中学校生活に対する不安解消と期待値の向上につながっていると考えられる。学府での連携した取組を今後も進める。	・小規模校で育った子どもが中学校に入学する際に直面する大きな環境変化に対応できるよう、引き続き不安感の解消と期待値の向上に向けた取り組みをお願いしたい。 ・中学校入学説明会に参加した際、豊浜小出身の中学生が声を掛けてくれ、親子共に緊張が和らいだ。子ども同士の絆を感じ、嬉しかった。
		私は 小中一貫教育のよさを感じている。				85%	A		
		子どもたちは 中学校での学習や生活を楽しみにしている。(6年生のみ)	☆	91%	80%	100%	A		
家庭地域との連携	学校の様子について情報公開することとおして、職員への信頼や教育活動への協力・支援を得る。	私は 豊浜小でめざそうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。	☆		86%	100%	A	○学校教育活動に対して保護者の理解が得られていることがうかがえる。 ※めざす子どもの姿を共有し、児童にとって明日も行きたい学校、保護者・地域住民にとって学ばせたい学校、教職員にとってここで働き夢を実現したい学校の構築を目指す。「啓迪」が表す時代の波を生かし豊浜から未来の道をひらく子の育成をするため、全職員で学校教育目標の具現化を図る。 ※個に応じたきめ細やかな支援・指導の在り方について学び、実践できる教員として生きて働く資質・能力の育成を図る。 ○各種より・HP・メール配信等での情報提供、保護者・地域ボランティアの活用、地域学習を継続し、魅力ある学校づくりを推進していく。 ※地域とともにある学校づくりを推進するため、引き続きコミュニティ・スクールの効果的な取組を模索していく。保護者と、地域と、学校外資源と、学府と、「つなぐ」をことを意識した教育課程を効果的、効率的に実施していくためにも、地域の教育力を積極的に導入し、学校教育活動のさらなる充実を図る。	・校長を中心に、「啓迪」を掲げた学校教育が推進されていることが理解できた。 ・全教職員が、全子どものことを知り、一人一人のことをよく考えているので、信頼関係が厚いと思う。 ・子どもたちの安全を見守る地域防犯ボランティアの方の活動に感謝している。 ・学校だけでなく地域は学校活動ことを知ることができ、身近さを感じる。 ・これからも、家庭に地域に子どもに職員に風通しのよい学校づくりをお願いしたい。
		豊浜小の教職員は 基礎的な学力が付くように努力している。			95%	100%	A		
		豊浜小の教職員は 個に応じたきめ細やかな支援・指導をしている。	☆		94%	77%	A		
		豊浜小の教職員は 「挑戦し高め合う子」になるよう支援・指導をしている。			96%	100%	A		
		豊浜小は 学校の規模や地域を生かした特色ある教育活動を行っている。			96%	100%	A		
		豊浜小は 地域・保護者の方に学校の様子など情報をよく公開している。			89%	100%	A		

☆は磐田市共通評価項目

学校関係者評価を受けてのまとめ

・『安全』と『安心』を最優先する「新学習指導要領を見据え、良質な授業・行事を実施する」「一人ひとりを大事にする」「信頼される学校づくりを推進する」という学校経営方針のもと、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進するとともに、学校教育目標「挑戦し高め合う子」を具現化し、道を啓く子の育成に努めたい。
・学校評価の結果、学校運営協議会の話し合いを受け、平成31年度も学校・家庭・地域が連携した効果的な取組について具体的な手立てを共通理解し、進めていきたい。
・コミュニティ・スクールを基盤としたまぼろ学府一貫教育を推進する。学府の取組の軸となる「自尊感情の涵養」について3校で結果を共有し、学府としての指導に生かしていきたい。